

まちづくりワークショップ成果報告書

研究日時 平成20年3月8日(土)

13:30~16:00

場 所 総合体育館研修室

1 グループ名 教育文化グループA

2 研究成果 別紙のとおり

3 グループメンバー

(1) 公募住民(3名)

梶加寿子 小山晃一郎 高木美穂

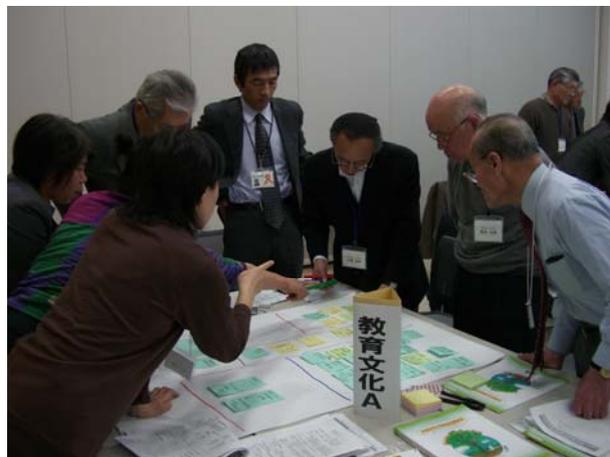
(2) 準備委員(4名)

久富富明(ファシリテータ) 石森美波子

荒田光男 海老根勉

(4) 職員(1名)

佐藤和秀(学校教育指導係)



教育文化グループA

※タイトル右欄の数字は、相互評価ポイント

1 無くそういじめ ^{ゼロ} 0 6P

いじめ問題を公表する

不登校
子どもを窓口に親と教育者、行政をつなぐ

子ども間のいじめは、大人の差別意識の反映

2 しつけ 15P

三声
話し声
歌声
笑い声

携帯電話は小中学生には持たせない

テレビを見ない日を作る

夜更かしをしない
早寝早起き

朝食をきちんと食べる

ゲームはやらない

集団で遊ぶ

ゲームをやらず太陽の下で外遊びをする

食べる楽しみ食育
(子ども達に食のマナー)美味を安全・安心を教える

3 子どもの居場所づくり 24P

①居場所づくり

保育園の耐震遊びの環境を整える

放課後の学習や遊びの場所づくり

放課後の学習や遊びの場所を増やす
すでにある箱物の中での居場所づくり

学習の基礎は幼児からの遊び
子どもの遊び場の充実を

学童の子ども達の育成の充実を

活動場所の提供

幼稚園児など未就学児の居場所をすでにある箱物の中で

子どもの夢をかなえる

子どもの集まりに使用料(集会所)をとらない

子どもの広場(たまり場)をつくる

町体育館や民間スイミングでの未就学親子を保育付きで練習できる場を

②人材

子どもの勉強を見る

学生や人材活用のためネットワークをつくる

勉強のわからない子どもを支援する

学校の教育活動を支援する
保護者のボランティアの組織

③組織

子どもの活動に補助金

安全を確保するためどの程度対価を出せるか

4 エコ教育の充実 17P

学校給食をエコ教育、マナー教育の場に活用

幼稚園から社会教育まで環境教育を

小・中学校でのエコ教育の充実

地球温暖化防止教育は小学校から

5 多文化共生の推進 18P

県の多文化共生の推進を三芳町でも

外国の方に日本語支援

言語別グループリーダーをおく

他言語で情報を提供する

6 教育の質の向上 8P

すぐれた芸術・文化に触れる機会の提供

三芳町独特の教育を生み出す

先生の資質を問う